

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年10月5日
- 事業名 : 林業における複業型就労の提案
- 資金分配団体 : 資金分配団体コンソーシアム、NPO 法人 地球と未来の環境基金、NPO 法人 自伐型林業推進協会、ランドブレイン株式会社
- 実行団体 : 株式会社 FOREST WORKER

① 実績値

| アウトプット | 指標 | 目標値 | 達成時期 | 現在の指標の達成状況 | 進捗状況* |
|-----------------------------------|-------|--------------------|------------|------------|-------|
| No.1: 皆伐跡地施業の拡大 | 施業面積 | 7ha ※次の機会に変更 | 2023年10月 | 0ha | 3 |
| No.2: 施業地への道づくり | 道の長さ | 1,500m ※次の機会に変更 | 2024年3月 | 750m | 2 |
| No.3: 冬季の雪の影響を鑑み、広島県内に複数の施業地を確保する | 施業地域数 | 5地域 | 2024年3月 | 3地域 | 1 |
| No.4: 元請け事業のための造林地・広葉樹施業地の確保 | 施業面積 | 43ha | 2023年8月 | 34ha | 2 |
| No.5: 複業型人材の増加 | 就労者数 | 7名 | 2023年4月 | 2名 | 2 |
| No.6: 林業従事者での半林半X人材の採用 | 新規就労者 | 6名 | 2023年10月 | 1名 | 2 |
| No.7: ワークショップの開催 | 参加者数 | 10名 | 2021~2023年 | 10名 | 2 |
| No.8: 複業による新たなコミュニティの形成 | 参加企業数 | 8社 | 2021~2023年 | 4社 | 1 |

*進捗状況: 1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

| |
|--|
| 1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み |
| 1.達成の見込み |
| 2.アウトカムの状況 |
| A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値 |
| 5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点 |
| |

③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

中国新聞2記事、テレビ出演、ラジオ出演3回、ZIBATSU TVにゲスト出演2回、広島県主催の移住セミナーのゲスト出演

2.広報制作物等

自伐フォーラムチラシ作成

3.報告書等

2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制

| 内部／外部 | 評価担当分野 | 氏名 | 団体・役職 |
|-------|--------|------|--------------------|
| 内部 | | 田村栄太 | 株式会社 FOREST WORKER |
| 内部 | | 草川修壮 | 株式会社 FOREST WORKER |
| 外部 | | 上原望 | ランドブレイン株式会社 |
| | | | |

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

| アウトカムで捉える変化の主体 | 指標 | 目標値 | 達成時期 | これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況 |
|---|--------------------|-----|----------------|-------------------------------|
| 庄原市及び庄原市周辺の山林が施業地として自社所有林となることで長期択伐自伐型/価値創造型林業の普及がなされる。 | 皆伐跡地を自伐型施業地へ転用する割合 | 1 | 2023 年 10 月 | 資金申請などの確保で行政と調整中である。 |
| 中山間地域の人材不足を補うため、「+林業」の普及を | 「+林業」複業型人材の育成数 | 7 名 | 2023 年 12 月 | 人材育成が進んでおり、農業へ従事する者などの活動が目立つ。 |

| | | | | |
|--|---------------------------------|------------|------------------------|---|
| <p>行っていくことで副業、複業としての林業を確立し、人材育成を行っていく。</p> | | | | |
| <p>庄原市において新規就労者を獲得していく中で、他業種との労働の流動化を目指し、林業分野での業務内容を活かした他業種との人材のシェアモデルを模索する。</p> | <p>林業従事者の他業種での就労件数</p> | <p>6件</p> | <p>2023年 10月</p> | <p>サロンなどの出会いから林福連携などのお話が出てきている。林業の技術を受け継いでいくことで今後の進展を目指す。</p> |
| <p>庄原市への地域の担い手としての人材を発掘し、移住や新規就労につなげる。</p> | <p>林業に興味がある方のワークショップへの参加者数</p> | <p>10名</p> | <p>2023年4月</p> | <p>自伐型林業のワークショップが中国地方で開催されることが稀なため、庄原にとどまらず、県外からの参加者も多く、今後も広島を中心にした普及の可能性があると考える。</p> |
| <p>中山間地域での課題共有のため、(オンライン) サロンを開設し、複業型モデルでの人材シ</p> | <p>複業型モデル(オンライン) サロンへの参加企業数</p> | <p>8社</p> | <p>2021～ 2023年</p> | <p>農業、観光業、デザイン業等の出会いがあり、また地域でも半農半Xなどで動こうとしている方がいたりつながりが広がりつつあり、それぞれの強みのシェアが見込める。</p> |

| | | | | |
|------------|--|--|--|--|
| エアの転用を進める。 | | | | |
|------------|--|--|--|--|



② アウトカムの分析「⑧アウトカムの達成度」(※任意)

| 評価小項目 | 評価小項目の評価結果 | 評価結果の考察 |
|-------|------------|---------|
| | | |



| 事業のアウトカムの進捗評価 | 評価結果の考察 |
|--|---|
| <p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p> | <p>地域の繋がりが順調に広がっており、メディアへの露出も増えてきた。隣接の市議から自伐型林業の従事者の育成の相談を受けるなど普及が進んでいる。</p> <p>課題は施業地の確保で、相談が寄せられ始めているため、その土地にあった提案ができるように準備し、人材育成も継続していく。</p> |

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

| 評価項目 | 評価小項目 | 評価結果 | 考察 |
|--------------------|---|---|---|
| 実施状況の適切性 | 事業の運営管理体制（進捗管理の仕組み、事業への人員体制、意思決定過程の整理など）の計画に問題はないか。 | 計画的に進んでいる | 専任の事務員を配置し、経理の人員と協力して進めている。 |
| 実施をとおした活動の改善、知見の共有 | 計画どおりのアウトプット発生に影響を与えた障害・貢献要因は何か。事業の進捗によって必要な実施事業の見直しが行われているか。 | 協力企業の数を増やすことが課題。想定していなかった福祉関係の企業連携を目指す。 | 農業や観光業の閑散期へのアプローチを考えていたが、コロナ禍により両業種は業績が厳しくなってきたため、人材の確保が難しい状況となった。サロン等の活動により福祉関係で協力が見込めるので、そちらもアプローチしていく。 |
| 組織基盤強化・環境整備 | 事業の進捗に合わせて、成果が発揮できるような組織・人員体制をとることが出来ているか | 人材確保が順調に進んでいる | 人材の確保、育成が順調に進み、移住にもつながっている。 |

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

- ・人との繋がりが広がり、より加速していった。
- ・コロナ禍により業種選定が難しくなった。

③ 事前評価時には想定していなかった成果



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



| 事業の改善状況の評価結果 | 評価結果の考察 |
|---|--|
| <p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる <input type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある <input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている <p>と自己評価する</p> | <p>活動により自伐型林業、複行の双方でコミュニティの広がりを実感している。今後はより具体的な連携体制の確率と施業地の確保を重点的に行っていく。また、人材確保のための広報活動もより力を入れていく。</p> |

⑤ 中間評価結果を踏まえて今後注力したいまたは早急に取り組みたい事項をお聞かせください。

人材募集のためのワークショップまたはセミナーを行いたい。林業の仕事に対する意識が低く、若年層に顕著だと感じている。20代をターゲットにした情報発信を行っていきたい。

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）











